

平成24年1月11日

報道関係各位

ハワイアン航空、関西線の機材を A330 にアップグレード

ハワイアン航空(本社:ホノルル、代表取締役社長兼 CEO:マーク・ダンカリー [Mark Dunkerley])は、本日、関西国際空港-ホノルル国際空港(以下、関空-ホノルル)間を毎日運航する直行便の機材を、2012年4月21日から大型の新型エアバス A330-200(座席数 294 席)へ変更し、座席数を増強していくことを発表しました。これにより、現在運航するボーイング 767-300(座席数 264 席)に比べ、一機当たりで 30 席、年間では 11,000 席の増加になります。

ハワイアン航空、代表取締役社長兼 CEO のマーク・ダンカリーは発表に際し、次のように述べています。「弊社は 6 カ月前、関西のお客様へ全く新しいハワイへの旅を発表しましたが、予想を越えた反響をいただくことができました。新機材を導入することによって、関西のお客様へこれまで以上に快適なハワイへの旅をご提供でき、また今後高まる需要にも応えていくことができると思います。」

定評をいただいている機内サービスは、「Hawaii Flies With Us -ハワイ。感じるフライト-」をコンセプトに、ハワイの文化や人々、自然美の要素を取り入れたアロハスピリット溢れる空の旅を演出しています。さらには、日本のお客様のために、日本語のエンターテインメントプログラム、アメニティ、そしてアジアンキューズの新機内食を用意。新機材の居心地良いインテリア、最先端のオンデマンド・エンターテインメント・システムを搭載したシートバックビデオで、さらに心地よい時間をお過ごしいただけるようになります。

【スケジュール】

新機材での関空-ホノルル間のフライトスケジュールは以下の通りです。(時間は現地時間)

便名	出発地	到着地	新型エアバスA330-200 運航開始日
449 便	ホノルル発 01:40 p.m.	関空着 06:15 p.m.(翌日着)	2012年4月21日(22日着)
450 便	関空発 09:15 p.m.	ホノルル着 09:55a.m.(同日着)	2012年4月22日

(関西の時間はホノルル時間+19時間で、本路線は日付変更線を越えます。)

ハワイアン航空について

創設83年の歴史を持つハワイアン航空は、米国本土からの搭乗客数において、他の米国航空会社を抜き、最大となっています。現在、ハワイ島間便は、1日約150便以上、米国主要10都市への直行便、日本、韓国、フィリピン、オーストラリア、アメリカ領サモア、タヒチへの直行便を運航しています。

ハワイアン航空は2008年、2009年の米国航空会社品質調査において、最高のサービスとパフォーマンスを提供する航空会社に選ばれました。また、米運輸省の行う米航空業界ランキングにおいては、7年連続で定刻離着率1位(2004-2010年)、米国旅行誌「コンデナスト・トラベラー」、「トラベル+レジャー」、「ザガット」においてもサービスの質、運航実績において米国航空会社のトップにランキングされています。

ハワイアン航空は、ハワイアン・ホールディングス(NASDAQ:HA)の子会社です。
詳細は、HawaiianAirlines.co.jp(日本語)、もしくはHawaiianAirlines.com(英語)をご覧ください。

ハワイアン航空(旅客)総代理店
株式会社グローバルサービス
TEL: 03-5405-3126
FAX: 03-5405-0985

ハワイアン航空 広報窓口
株式会社バーソン・マーステラ
担当:清水、セイツ
TEL: 03-3264-6701 / FAX: 03-3234-9647
E-mail: HawaiianAir.pr@bm.com